

NEWS LETTER

昨年末カフェ開設記念講演会が行われました。

昨年12/4に聖橋プラムカフェ開設記念講演会を開催し、30名を超える方々がお見えになりました。実際に働きながらがん闘病を体験された田口ご夫婦の貴重な体験談のあとで、参加者の皆様も、仕事復帰後に感じたこと、また支えるご家族からのお話など、さまざまな体験談を語り合い、打ち解けた交流をされました。

会の終わりには私たちの演奏するウクレレにあわせて参加者の皆さんが合唱をされました。今回は特別に豊島病院緩和ケア医長の山田陽介先生がお越しくださり、素晴らしい音を奏で会を盛り上げてくださいました。音楽と歌で会場には一体感が生まれました。



第2回聖橋プラムカフェ開催日

2018年01月19日 18:00~19:30

今回は1月第3週の金曜日の夜に開催致します。私たちや参加者様同士の対話や交流の時間を多く取りたいと思っております。解決はできないかもしれませんが、何か一つ解消はできるかもしれません。お茶とお菓子和ウクレレを準備してお待ちしております。

聖橋プラムカフェ メンバー紹介

- 井上徹治 看護師で、今は大学院生です。埼玉県出身です。ウクレレは始めたばかりです。
- 庄司花円 皆さんが心休まる楽しい空間と一緒に作れるようにがんばりたいです。
- 西塚祐樹 埼玉から学校に通っています。毎朝の通勤・通学ラッシュがづらいです。
- 福島綾華 看護師です。静岡県出身なのでみかんは静岡のものを買います。
- 山崎智子先生 看護師なのに体が弱く、今年は腹筋を割らすべく鍛えていきます。



樋野興夫先生

「聖橋カフェ ニュースレターの存在意義」
～人生を考える「ひととき」～

2018年も、早2週間が過ぎた。

定例の第68回「がん哲学外来 お茶の水メディカル・カフェ in OCC」が、開催され、聖橋カフェのスタッフの方の参加もあり、80名を超える、多数の参加者で大盛況であった。筆者は、『人生いろいろ』について話した。新年、『がん哲学外来映画製作委員会』が立ち上がり、また、新訂版『われ21世紀の新渡戸とならん』（2018年1月20日発行）が出版される運びとなった。

人生を考える「ひととき」は、「聖橋カフェ ニュースレターの存在意義」であろう。